

2008 年度

| | | |
|--|--|--|
| <p>科目名</p> <p style="text-align: center;">書道科教育法 B</p> | <p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部日文3回生</p> | <p>担当者</p> <p style="text-align: center;">永田 誠</p> |
| <p>授業テーマ</p> <p>教材研究と教案作成を通じ授業の実態を考察する。</p> | | |
| <p>授業の概要と目標</p> <p>教材研究や指導案作成を通して各書体の文字造型や線質を研究し、書の文化や伝統について理解を深めると同時に、教材研究を積み、よりよい授業を行うための指導案作成を考察する。</p> | | |
| <p>評価方法</p> <p>指導案、レポート、授業態度、出席 (2回以上欠席した場合は、単位の取得を認めない。遅刻2回を欠席1回とみなす。)</p> | | |
| <p>テキスト</p> <p>文部科学省検定教科書</p> | <p>著者</p> | <p>出版社</p> <p>大阪書籍</p> |
| <p>参考書</p> <p>指導資料</p> | <p>著者</p> | <p>出版社</p> <p>大阪書籍</p> |
| <p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 書表現するための用具・用材、書体や書風に即した用筆法、運筆法を考える。 2 名筆や古典を鑑賞し、文字造形の魅力を探り、構成美・流動美を研究する。 3, 4, 5, 6, 7, 8 書道Ⅱ 漢字・仮名まじりの書 漢字の書 (楷、行、隸) 仮名の書 篆刻 } 書道Ⅱの教材を通じて実践し、 教材研究を深める。 9, 10, 11, 12, 書道Ⅱ 漢字・仮名まじりの書 漢字の書 (楷、行、隸) 仮名の書 篆刻 } 13, 14 模擬授業と反省 15 一年間の総括 | | |